科目	目名	実践行動学 I (就職	実務含む)	指導担	当者名	栁橋	南			
実務	経験			•		実務経験:	無			
開講	時期	通年	対象:	学科学年	トータ	ルビューティ学	科1年			
授業	方法	講義:〇	演習:	実	習:	実打	 支:			
時間数	(通年)	40時間	週時間数		1時	計間				
学習到	達目標	就職活動を始める前の準備をする	Do							
評価評価	方法 基準	授業態度・提出物・活動状況等を	総合評価する。							
使用 授業タ	教材	SUCCESS								
投表が		この授業を受けて将来自分のなり	たい姿を常に考える事 							
学期	ターム	項目			内容・準備資料等	÷				
	1	オリエンテーション	講師紹介 1-	1 これからどう生	きるのかを考える	(宿題として視聴)			
_	2	就職活動の心構え身だしなみ	1-1宿題振り	1-1宿題振り返り 1-2 一生でどのくらい稼げるのかを考える						
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実	践編) 身だしなみ	を整える					
	4	就職活動の流れ	学校でのルー	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違い						
	5	職業を知る	圧迫面接を知	圧迫面接を知る						
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	2-2(実践編)	2-2(実践編) 業界マップの理解を深める						
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	2-3 業界ごと	に必要な仕事内容	字を理解する					
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	2-3(実践編)	業界ごとに必要な	:仕事内容を理解	する				
授業	9	自分自身を知る 自分史作成 1	1 3-4~3-6-2	: ·3-4自己PRの	ネタを探す					
業計	10	自分自身を知る 自分史作成 2	3-4~3-6-2	•3-4-1自己PRの	ネタを探す(経験)				
画	11	自分自身を知る 自分史作成 3	3-4~3-6-2	·3-4-2自己PRの	ネタを探す(特性)				
前期	12	自分自身を知る 自分史作成 4	3-4~3-6-2	・3-5自己PRの骨	'格を作る					
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	3-4~3-6-2	•3-5自己PRの骨	格を作る(実践編)				
	14	志望動機の作り方 1	3-7 業界、会	社にあった動機化	りを知る					
	15	志望動機の作り方 2	3-7(実践編)	業界、会社にあっ	た動機作りを行う	ò				
	16	自己PRの作り方 1	3-7 業界、会	社に合った自己P	R 作りを行う					
	17	自己PRの作り方 2	3-7 業界、会	社に合った自己P	R 作りを行う					
	18	自己PRの作り方 3	3-7 業界、会	社に合った自己P	R 作りを行う					
	19	履歴書作成	期末評価							
	20 履歴書作成									
履修上(の留意点	Ā	<u>.</u>							
	出度 ·	が80%に満たない場合は 期末試り	蛤の ⇔ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆	LA						

科目	3名	実践行動学 I (就職実務含む)	指導担	当者名	栁橋	南		
実務	経験						実務経験:	無		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	— 科1年		
授業	方法	講義:〇	演 ³	習:	実	골:	実技	支:		
時間数	(通年)	40時間		週時間数	<u> </u>	1時	間			
学習到	達目標	就職活動を始める前の準備を	<u>を</u> する。							
評価評価	方法基準	授業態度·提出物·活動状況	等を総合評価で	する。						
	教材	SUCCESS								
	授業外学習 の方法 この授業を受けて将来自分のなりたい姿			常に考える事。						
学期	ターム	項目			内容-準備資料等					
	1	志望動機の作り方 1		3-7 業界、会社	にあった動機作	Ŋ				
	2	志望動機の作り方 2	3-7(実践編) 業	界、会社にあった	動機作り					
	3	作成書類 1		シート、			-6-2まで 履歴書	、エントリー		
	4	作成書類 2		添え状など 各種書類を書けるように、また、封筒の書き方、 その他の書類 (事務局の書類の手続き)、ポートフォリオ、履歴書の完成						
	5	作成書類 3								
	6	企業訪問		5-1~5-2 準備	、当日、事後の持	旨 導				
坪	7	就職試験のマナー 1		5-2~5-3(実践約	編)入退室を実足	銭する				
授 業 -	8	就職試験のマナー 2		5-2~5-3(実践約	編)面接試験対策	 策1				
計画	9	就職試験のマナー 3		5-2~5-3(実践約	編)面接試験対策	 策2				
後	10	筆記試験対策 1		5-5(実践編) 筆	記試験について	、種類や方法を	 知る			
期	11	筆記試験対策 2		特に小論文の書 (内容は自己PR	き方を知る や志望動機をまる		(1)			
	12	筆記試験対策 3		特に小論文の書						
	13	企業研究 1			自分の希望する					
	14	企業研究 2		求人票の見方・	自分の希望する	ー 企業を調査する				
	15	企業研究 3		求人票の見方・	自分の希望する	企業を調査する				
	16	履歴書•面接試験		履歴書、入退室の確認は必須とする						
	17 履歴書·面接試験			期末評価						
履修上(

科目	∃名	ビューテ	·ィ学 I		指導担	当者名	村上	成美	
実務	経験	Ξ	エステティシャ	ン実務経験6年			実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科1年	
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:	
時間数	(通年)	135時間		週時間数		6時	間		
学習到]達目標	エステティックの学習を中心に 日本エステティック試験センタ) •			
	方法 基準	授業態度・提出物・口頭テスト	・期末テストを	総合評価する	٥				
	教材 	ソワンエステティック協会テキュ			センター例題集	[
	75子百 方法	テキストの該当範囲を事前に	読んでおくこと						
学期	ターム	項目			ı	内容・準備資料等	-		
	1	オリエンテーション		ビューティ学とは	t				
	2	エステティック概論		エステとマッサージの違い					
	3	エステティック概論		内面からきれい	にする考え方				
	4	解剖生理学		人体とは					
	5	解剖生理学		骨格系					
	6	解剖生理学		筋肉系					
	7	解剖生理学		消化器系					
	8	皮膚科学		皮膚の構造					
授 業	9	皮膚科学		生理機能					
計	10	皮膚科学		肌診断(4種類の	O肌)				
画	11	運動生理学		運動の必要性					
前 期	12	運動生理学		筋肉·呼吸器·循	盾環器と運動				
	13	期末テスト		期末試験					
	14	カウンセリングシート		アドバイス					
	15	運動生理学		カウンセリングシ	ノート作成				
	16	解剖生理学		人体とは 細胞	·組織·器官				
	17	解剖生理学		構造とメカニズム	<u></u>				
	18	解剖生理学		骨格系·筋系					
	19	解剖生理学		消化器系 呼	吸器系				
	20	解剖生理学		循環器系 心	臓∙血管				
履修上	の留意点	Ā		L					
	出席率:	が80%に満たない場合は、期ま	 	資格を与えない	١.				

科目	1名	ビューラ	-√学 I		指導担	当者名	村上	成美	
実務	経験		エステティシャ	ン実務経験6年			実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科1年	
授業	方法	講義:○	演	習:	実	習:	実持	支 :	
時間数	(通年)	135時間		週時間数		3時	間		
学習到	達目標	エステティックの学習を中心に 日本エステティック試験センタ				00			
	方法 基準	授業態度・提出物・口頭テスト	・・期末テストを	:総合評価する。	,				
	教材	ソワンエステティック協会テキ	スト・日本エス	テティック試験で	センター例題集	<u>.</u>			
	1学習 5法	テキストの該当範囲を事前に	ストの該当範囲を事前に読んでおくこと。						
学期	ターム	項目			ı	内容•準備資料等	F		
	1	解剖生理学		内分泌系					
	2	解剖生理学	血液						
	3	解剖生理学		ホルモン					
	4	解剖生理学		免疫系神経系					
	5	解剖生理学							
	6	解剖生理学		感覚器					
+巫	7	解剖生理学		泌尿器•生殖器					
授 業	8	皮膚科学		肌分析					
計 画	9	確認テスト		筆記試験					
後	10	テストの解説		解答解説					
期	11	皮膚科学		肌分析(相モデル	IL)				
	12	皮膚科学		肌トラブルの原図	因				
	13	皮膚科学		シミ					
	14	皮膚科学		老化					
	15	皮膚科学		敏感肌					
	16	皮膚科学		アトピー					
	17	香粧品学		化粧品の定義					
履修上									

				-1			ı		
科目	1名	サービス	く 接遇		指導	旦当者名	水野	直美	
実務	経験	秘書・Ⅎ	ドャビンアテン	/ダント実務経験 -) 第10年		実務経験:	有	
開講		通年		対象学			ルビューティ学: 		
授業	方法	講義∶○	演 —————	習:		<= 2	実持	支: ————————————————————————————————————	
時間数	(通年)	60時間		週時間数		2時	計間		
学習到	達目標	・相手に満足を提供する行動「 ・ビジネスの場でのサービス接・サービス接遇実務検定3級の	遇というもの	の具体的な考え	え方、行動の作	士方、口の利きブ	ちなどを学ぶ。		
評価評価		出席、授業態度、提出課題、訪	試験等の成績	評価を100点満	点で点数化し	て総合評価する	.		
	教材	テキスト 早稲田教育 出版「十	ナービス接遇	検定公式テキス	スト3級」「サー	ビス接遇検定実	問題集3級」		
授業を	下字省 5法	・テキストの該当範囲を事前に	読んでおくこ	と。・授業内で	行う練習問題	色の復習をするこ	.ک		
学期	ターム	項目				内容·準備資料等	÷		
	1	オリエンテーション		テキスト / プリン	ト 準備 サ	一ビススタッフの基	基本を考える		
	2	一般常識		テキスト / プリン	小 準備 尊	敬語/謙譲語/:	丁寧語の使い分に	†	
	3	一般常識		テキスト / プリン バック	小 準備 尊	敬語/謙譲語/:	丁寧語 確認テス	Kト / フィード	
	4	サービススタッフの資質 必要とさ	れる要件	テキスト / プリン	ト 準備 明	るさと誠実さを、備	えている		
	5	サービススタッフの資質 必要とさ	れる要件	テキスト / プリン	ト 準備 適	切な判断と表現を	、心得ている		
	6	サービススタッフの資質 必要とさ	れる要件	テキスト / プリン	小 準備 身	だしなみを心得て	いる		
	7	確認テスト		テキスト / 確認	テスト 準備	確認テスト / フィ	ードバック		
	8	サービススタッフの資質 従業要例	#	テキスト / プリン	小 準備 良	識を持ち、素直な	態度がとれる		
授 業	9	サービススタッフの資質 従業要例	#	テキスト / プリン	ト 準備 適	切な行動と協調性	が期待できる		
計	10	サービススタッフの資質 従業要例	#	テキスト / プリン	ト 準備 清	潔感について、理	解できる		
画	11	サービススタッフの資質 従業要例	#	テキスト / プリン	ト 準備 忍	耐力のある行動か	「期待できる		
前 期	12	確認テスト		テキスト / 確認	テスト 準備	確認テスト / フィ	ードバック		
	13	前期試験		試験問題					
	14	試験フィードバック		テキスト / 期末	試験問題 準備	#			
	15	専門知識 サービス知識		テキスト / プリン		ービスの意義を理	解できる		
	16	専門知識 サービス知識		テキスト / プリン		ービスの機能を理	解できる		
	17	専門知識 サービス知識		テキスト / プリン		ービスの種類を知	っている		
	18	専門知識 従業知識		テキスト / プリン	ト 準備 商	業用語が理解でき			
	19	専門知識 従業知識		テキスト / プリン	ト 準備 経	済用語が理解でき	きる		
	20	確認テスト		テキスト / 確認:	テスト 準備	確認テスト / フィ	ードバック		
履修上の	の留意点	<u>. </u>		l					
	出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。								

科]名	サービ	ス接遇		指	導担当者名		水野	直美	
実務	経験	秘書・	キャビンアテン	/ダント実務経験)10年			実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年		トータ	ルビューティ学	科1年	
授業	方法	講義:〇	演	習:		実習:		実持	支:	
時間数	(通年)	60時間		週時間数			2時	間		
学習到	達目標	・相手に満足を提供する行動 ・ビジネスの場でのサービス‡ ・サービス接遇実務検定3級の	妾遇というもの	の具体的な考え	え方、行動	の仕方、口の	の利き方	5などを学ぶ。		
	方法基準	出席、授業態度、提出課題、	試験等の成績	評価を100点満	点で点数	化して総合詞	平価する) o		
使用教材 テキスト 早稲田教育 出版「サービス接遇検定公式 授業外学習 ・テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。・授										
		テキストの該当範囲を事前に読んでおくこと。 ・授業内で行う練習問題の復習をすること。 								
学期	ターム	項目				内容·準	備資料等	ļ.		
	1	一般知識 社会常識		テキスト / プリン	ト 準備	社会常識が	理解でき	·S		
	2	一般知識 社会常識		テキスト / プリン	小 準備	時事問題を	理解して	いる		
	3	確認テスト		テキスト / 確認・	テスト 準備	備 確認テス	ト / フィー	ードバック		
	4	対人技能 人間関係		テキスト / プリン	ト 準備	一般的に、ノ	人間関係	が理解できる		
	5	対人技能 接遇知識		テキスト / プリン	小 準備	対人心理が	理解でき	·S		
	6	対人技能 接遇知識		テキスト / プリン	ト 準備	一般的なマ	ナーを心	得ている		
	7	対人技能 接遇知識		テキスト / プリン	ト 準備	接遇者として	このマナ-	ーを心得ている		
授	8	対人技能 話し方		テキスト / プリン	ト 準備	接遇用語を	知ってい	る		
業計	9	対人技能 話し方		テキスト / プリン	ト 準備	接遇者として	の基本に	ーーーー 的な話し方が理	¥できる	
画	10	対人技能 話し方		テキスト / プリン	ト 準備	提示、説明の	の仕方が	理解できる		
後期	11	対人技能 服装		テキスト / プリン	———— ト 準備	接遇者として	の適切	な服装が理解で	 きる	
	12	後期試験		試験問題						
	13	試験フィードバック		テキスト / 期末	試験問題	 準備				
	14	実務技能 問題処理		テキスト / プリン	———— ト 準備	問題処理に	ついて、	理解できる		
	15	実務技能 環境整備		テキスト / プリン	 ト 準備	環境整備に	ついて、	理解できる		
	16	実務技能 金品管理		テキスト / プリン		金品管理に	ついて、	理解できる		
	17	実務技能 社交業務		テキスト / プリン		社交儀礼の	業務につ	いて、理解でき	 გ	
	18	接遇マナーのまとめ		テキスト / プリン	 ト 準備	練習問題の	 実施			
履修上	の留意点	Ī.	1							

科目	1名	化粧品	品学 I		指導担	当者名	高橋	貴美子		
実務	経験	オフィスマーベ	ル代表メイクア	ップアーティス	卜実務経験37年	=	実務経験:	有		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	4科1年		
授業	方法	講義∶○	演	習: ·	実	習:	実	技:		
時間数	(通年)	90時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	日本化粧品検定3級・2級取得	非を目指す 。							
評価評価		授業態度・提出物・期末テスト	〜を総合評価す	⁻ る。						
使用		日本化粧品検定協会 日本化	比粧品検定2級	・3級対策テキ	スト					
授業を		テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	うった内容を毎	回復習する。					
学期	ターム	項目			内	容•準備資料	等			
	1	オリエンテーション		テキスト、筆記用具						
	2	PART 1 間違えがちな美容知識	をチェック	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.22~37						
	3	PART 1 間違えがちな美容知識	をチェック	日本化粧品検尿	[2級・3級対策テ	キストP.38~49				
	4	PART 2 皮膚・肌について知ろう	ò	日本化粧品検尿	[2級・3級対策テ	キストP.52~59				
	5	PART 2 皮膚・肌について知ろう	ò	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.60~69						
	6	肌の構造		表皮·真皮·皮下組織						
	7	肌の構造		皮膚のしくみとな	ターンオーバー					
	8	肌の構造		皮膚の機能						
授	9	PART 3 肌の手入れと正しい知	識	日本化粧品検尿	■ 2級・3級対策テ	キストP.72~75				
業計	10	肌タイプと見分け方		肌タイプと見分り	ナ 方					
画	11	PART 3 肌の手入れと正しい知	識	日本化粧品検尿	〒2級・3級対策テ	キストP.76~83				
前 期	12	肌悩みの原因とお手入れ		乾燥・ニキビ・毛	穴					
	13	肌悩みの原因とお手入れ		しみ・くすみ						
	14	肌悩みの原因とお手入れ		くま・しわ・たるみ	<i>'</i>					
	15	PART 3 メイクアップの基本テク	ニック	日本化粧品検尿	 E2級・3級対策テ	キストP.94~103	}			
	16	ファンデーション フェイスパウダ	· <u> </u>	色選びと付け方	ī					
	17	ハイライト&シェーディング		基本の入れ方	顔型別の入れ方	ī				
	18	アイメイク		眉・アイシャドウ	・まつ毛・アイライ	イン イン				
	19	チーク・口紅		チークの基礎知	識・口紅の正しに	^塗り方と形				
_	20	 肌悩みに応じた化粧品の使い方		トラブル別テクニ	ニック					
履修上(の留意点	<u>. </u>		I						
	出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

科目	1名	化粧品	品学 I		指導担	当者名	高橋	貴美子		
実務	経験	オフィスマーベル	レ代表メイクア	'ップアーティス	大実務経験37年	=	実務経験:	有		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科1年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	技:		
時間数	(通年)	90時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	日本化粧品検定3級・2級取得	非を目指す 。							
	方法 基準	授業態度・提出物・期末テスト	~を総合評価す	- る。						
	教材	日本化粧品検定協会 日本化	比粧品検定2級	(・3級対策テキ)	スト					
	1学習 方法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	テった内容を毎	回復習する。					
学期	ターム	項目			内容・準備資料等					
	1	PART 4 美肌・美ボディー生活を	送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.112~119						
	2	肌の劣化		外的要因・内的要因・ストレス・ホルモン						
	3	PART 4 美肌・美ボディー生活を	送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.120~125						
	4	紫外線の影響		紫外線・サンケア指数						
	5	PART 4 美肌・美ボディー生活を	送るには	日本化粧品検定2級・3級対策テキストP.126~130						
	6	マッサージ		効果的なマッサ	ージ・リンパ					
4177	7	PART 4 美肌・美ボディー生活を	送るには	日本化粧品検定	€2級・3級対策テ	キストP.132~13	39			
授 業 	8	美しい肌を作る生活習慣		睡眠·食事·運動	か・入浴					
計 画	9	検定試験対策		練習問題						
後	10	検定試験対策		練習問題						
期	11	検定試験対策		練習問題						
	12	テスト		確認テスト						
	13	検定試験対策		練習問題						
	14	検定試験対策		練習問題						
	15	検定試験対策		練習問題						
	16	検定試験対策		練習問題						
	17	模擬試験		期末試験						
履修上的										

科	目名	エステティ	ィック I		指導担	!当者名	①村上成美 ②森	合美穂 ③近内睦美		
実務	経験	①エステティシャン実務経験6年 ②エス	、テティシャン実務	経験34年 ③エステ	- ティシャン実務経験	5年 美容部員8年	実務経験:	①有 ②有 ③有		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティヴ	学科1年		
授業	方法	講義:	演習	: ○	実	· 習:	美	ミ技:		
時間数	(通年)	180時間		週時間数		6時	持間			
学習到	達目標	ボディ・フェイシャルエステの基 実習を通して、技術・知識・接名			ンター試験実技	対験を目指す	o			
	i方法 i基準	授業態度・提出物・実技試験を	-総合評価する	3.						
	教材	 化粧品・タオル・バスタオル・ソ	ワン協会テキ	-スト(実技)						
	外学習 方法	テキストを見て事前に予習を行	い、授業で行	行った内容を毎回復習する。						
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	1	オリエンテーション 身だしなみ・技	受業について	エステティックに	ついて学ぶ					
	2	エステ室の使用の仕方・清掃・洗涤	翟∙消毒	実習のマナーを学ぶ						
	3	ボディ実技導入・モデルの誘導(セ	zッティング)	マニュアル作成	をする					
	4	6大手技(軽擦法·強擦法·揉燃法)	相モデルでマッサージを行う						
	5	6大手技(打法・圧迫法・振動法)		相モデルでマッサージを行う						
	6	6大手技練習		相モデルで実習する						
	7	7大手技練習		相モデルで実習する						
	8	下肢後面マッサージ・拭き取り		デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
授	9	下肢後面マッサージ・拭き取り		マニュアルを見る	ながら練習をする	3				
業計	10	背中マッサージ・拭き取り		デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
画	11	背中マッサージ・拭き取り		マニュアルを見る	ながら練習をする	3				
前期	12	下肢前面マッサージ・拭き取り		デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
	13	下肢前面マッサージ・拭き取り		マニュアルを見る	ながら練習をする	<u> </u>				
	14	腕マッサージ・拭き取り		デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
	15	腕マッサージ・拭き取り		マニュアルを見る	ながら練習をする	<u> </u>				
	16	腹部マッサージ・拭き取り		デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
	17	腹部マッサージ・拭き取り		マニュアルを見	ながら練習をする	3				
	18	全体を通しでマッサージ		全体の流れを把	 P握する					
	19	全体を通しでマッサージ		全体の流れを把握する						
	20	中間テスト ボディ実技		期末試験						
履修上	の留意点	.		1						
	出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

科目	1名	エステテ	イック I		指導担	当者名	①村上成美 ②森台	含美穂 ③近内睦美		
実務	経験	①エステティシャン実務経験6年 ②エ	ステティシャン実務	経験34年 ③エステ	ティシャン実務経験	5年 美容部員8年	実務経験:	①有 ②有 ③有		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科1年		
授業	方法	講義:	演習	T:O	実	IJ. ij:	実	技:		
時間数	(通年)	180時間		週時間数		6時	間			
学習到	達目標	ボディ・フェイシャルエステのま実習を通して、技術・知識・接			ノター試験実技	試験を目指す	o			
評価評価	方法 基準	授業態度·提出物·実技試験	を総合評価する	3 .						
	教材	化粧品・タオル・バスタオル・	ソワン協会テキ	スト(実技)						
授業タ のフ 		テキストを見て事前に予習を	テキストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。							
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	純水の作り方・準備物		説明、オリエンテ	ーション					
	2	ポイントクレンジング・ウィッグで	練習	デモを見てマニュアルにポイントを書き加える						
	3	ポイントクレンジング・ウィッグで	練習	手順の確認テスト						
	4	クレンジング・ウィッグで練習		デモを見てマニュアルにポイントを書き加える						
	5	クレンジング・ウィッグで練習		デモを見てマニュアルにポイントを書き加える						
	6	コットン拭き取り・ホットタオルの	式き取り	デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
1 四	7	コットン拭き取り・ホットタオルの	式き取り	デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
授 業	8	クレンジング通し		相モデルでクレ	ンジングを行う					
計画	9	フェイシャルマッサージ		デモを見てマニ	ュアルにポイント	を書き加える				
後	10	フェイシャルマッサージ		相モデルでクレン						
期	11	フェイシャルマッサージ		相モデルでクレン	 ンジングを行う					
	12	クレンジング・マッサージ		マニュアルを見れ	ながら練習をする	,)				
	13	クレンジング・マッサージ		マニュアルを見れ	ながら練習をする	,)				
	14	クレンジング・マッサージ		手順を覚えたら	見ないで行う					
	15	クレンジング・マッサージ		手順を覚えたら	見ないで行う					
-	16	クレンジング・マッサージ		手順を覚えたら見ないで行う						
	17	期末テスト フェイシャル実技		期末試験						
履修上(上の留意点									

科目	目名	ネイ	ルI		指導担	当者名	①五十嵐愛	②大原麻引	沵	
実務	経験	①ネイリスト§	実務経験14年	②ネイリストラ	ミ務経験10年		実務経験:	①有 ②)有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	!科1年		
授業	方法	講義:	演習	3 ∶O	実	習:	実	技:		
時間数	(通年)	180時間		週時間数		6時	間			
学習到	達目標	ネイルの基礎を学び、ネイリス	スト技能検定39	級、ジェルネイバ	レ初級を目指す	- .				
評価		授業態度・提出物・技術テスト	〜を総合評価す	⁻ る。						
	教材	ネイルボックス ネイリスト技	能検定テキスト 	- JNAテクニカ	ルシステムジェ	ルネイル				
授業を	1学習 5法 	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	行った内容を毎回復習する。						
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	1	教材チェック・身だしなみ・基礎理	Li 論	教材の名前・使い方を学ぶ・検定までの意識付けをする						
	2	基礎理論(爪の病気・トラブル)		基礎知識を理解・筆記テスト対策を行う						
	3	基礎理論(爪の病気・トラブル)		基礎知識を理解・筆記テスト対策を行う						
	4	ファイルの使い方・ケア		指の持ち方・姿勢・ファイルの持ち方・三点指圧を学ぶ						
	5	ケア・カラー		プッシュアップ・ニッパーワーク・流れを説明・実習						
	6	ケア・カラー(カラー5本指)		最初からの通しを行う						
	7	ケア・カラー		1つ1つ説明しな	がら相モデルで	通しを行う				
	8	アート		課題アートの描	き方を学ぶ					
授業	9	手指消毒~ケア		計測 40分						
業計	10	カラー~仕上げ		計測 40分						
画	11	通し計測		計測 80分						
前期	12	中間テスト		計測 80分						
	13	ネイル3級検定		検定試験						
	14	ジェルネイルの基礎		ジェルとは ドライケアを学ぶ						
	15	カラーリング		ジェルとポリッシ	ュの違いを学ぶ					
	16	アート		ジェルアート(ピ	ーコック)を学ぶ					
	17	カラーリングからアート		通し計測を行う						
	18	期末テスト		通し計測を行う						
	19	カラーリングからアート		通し計測を行う						
	20	ジェル初級検定		検定試験						
履修上的	修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

科目	目名	ネイ	IV I		指導担	当者名	①五十嵐愛	②大原	麻弥	
実務	経験	①ネイリストラ	ミ務経験14年	②ネイリスト事	ミ務経験10年		実務経験:	①有	②有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	<u>.</u> 科1年		
授業	方法	講義:	演習	3 ∶O	実	習:	実	技:		
時間数	(通年)	180時間		週時間数		6時	間			
学習到	達目標	ネイリスト技能検定2級を目指	ां ∳ 。							
	方法 基準	授業態度・提出物・技術テスト	-を総合評価す	⁻る。						
	教材	ネイルボックス ネイリスト技能	能検定テキスト	- JNAテクニカ	ルシステムジェ	ルネイル				
授業を	1字省 5法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	うった内容を毎[回復習する。					
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
_	1	前期の復習		模擬試験						
	2	2級内容確認	検定の内容を学	!si						
	3	ネイルチップラップ説明		検定の準備を学	!ぶ					
	4	ネイルチップラップ説明		溶剤の使用方法	を学ぶ					
	5	ネイルチップラップ説明		チップの合わせ方を実践する						
	6	ネイルチップラップ説明		ハンド使用して実践する						
極	7	実技前半35分		相モデルで練習	する					
授 業	8	実技前半35分		相モデルで練習	する					
計 画	9	実技前半35分		相モデルで練習	する					
後	10	実技前半35分		相モデルで練習	する					
期	11	期末テスト		期末テスト						
	12	実技後半55分		相モデルで練習	する					
	13	実技後半55分		相モデルで練習	する					
	14	実技試験通し90分		相モデルで練習	する					
	15	ネイリスト検定2級		検定試験						
	16	復習		相モデルで丁寧	に復習する					
	17	復習		相モデルで丁寧に復習する						
履修上的	修上の留意点 出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

科	目名	メイ	クI		指導担	当者名	①佐々木美代子	②管野元美 ③柳橋南			
実務	経験	①美容師実務経験18年	年 ②美容師男	ミ務経験1年() 美容師実務網	圣験12年	実務経験:	①有 ②有 ③有			
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	!ルビューティ <u>*</u>				
授業	方法	講義∶	演習	3 ∶O	実	習:	12年 実務経験: ①有				
時間数	(通年)	180時間		週時間数		6₽	詩間				
		JMA 日本メイクアップ技術検	定3級合格を目	目指す。							
評価	方法 i基準 	授業態度・提出物・技術テスト JMA 日本メイクアップ技術検			イクBOX						
	小学習 方法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	テった内容を毎	回復習する。						
学期	ターム	項目			内容·準備資料等						
	1	「メイクアップの前に」			・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
	2	「メイクアップの前に」				ト説明・技術者	の身だしなみ、	スタンス、			
	3	 「メイクアップの前に」		道具の持ち方っ ・メイクアップの		既要説明(授業目					
	4	「スキンケア①」		・スキンケアの』	順序・スキンケア		特徴・皮膚・オ	 表情筋・顔の名称			
	5	「スキンケア②」		・化粧水・美容液・乳液テクニック復習(手順を覚える) (セッティング後 実習50分)							
	6	「スキンケア③」		・スキンタイプと肌の状態・化粧水・美容液・乳液テクニックトータルチェック							
	7	「スキンケア④」			ントクレンジング・クレンジング実践(ティッシュ、綿棒の使いこなし						
	8	「スキンケア⑤」		的確な添え手の・ポイントクレン		ング実践 トータル	レチェック (実習				
授	9	「スキンケア⑥」		・スキンケアテク	フニック トータルし	ノッスン (実習50)分)				
業計	10	「ベースメイク①」		ベースメイク化		徴・ベースメイク	7の順序 (座学	20分)			
画	11	「ベースメイク②」				ンデーション~バ	パウダー 実践 /	ハンドテクニック・			
前期	12	「ベースメイク③」		スポンジ・パフラ							
701	13	「ベースメイク④」				レとメイクアップ	(座学15分)・=	1ントロールカラー			
	14	「ベースメイク⑤」		~ファンデーシ: ・ファンデーショ		 -〜パウダー 実』	 銭(セッティンク	 が後 実習50分)			
	15	「ベースメイク⑥」		・ベースメイクト	ータルレッスン	(実習50分)					
	16	「トータルレッスン①」		・化粧水・美容液	 夜~ベースメイク	トータルレッスン	·(実習50分)				
	17	「トータルレッスン②」		・ポイントクレン	ジング~ベース	メイクトータルレ	ッスン (実習50				
	18	「顔分析①」		•顔分析理論 •		ライト・ローライト	·チークの効果	 (座学50分)			
	19	「顔分析②」		・ファンデーショ	ン〜パウダー・ハ	ハイライト・ローラ	・イト・チーク(写	 旲習50分)			
	20	3級実技試験内容		・3級 試験 テー	- ブルセッティング 試験 30分 審査						
履修上	の留意点	<u> </u>		尹則番宜 美技	武歌 30万 番宜						
	出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。										

科	目名	メイ	クI		指導担	!当者名	①佐々木美代子 ②	②管野元美 ③柳橋南		
実務	経験	①美容師実務経験18年	年 ②美容師実	ミ務経験1年 ③	美容師実務紹	E験12年	実務経験:	①有 ②有 ③有		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	<u>-</u> - - - 科1年		
授業	方法	講義:	演習	∄:0	実	· 習:	実	技:		
時間数	(通年)	180時間		週時間数		6時	捐			
学習到	達目標	JMA 日本メイクアップ技術検	定2級合格を目	目指す。						
	方法 基準	授業態度・提出物・技術テスト	〜を総合評価す	-る。						
	教材	JMA 日本メイクアップ技術検	定3,2級テキス	ト Ledomメイ	クBOX					
	外学習 方法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	うった内容を毎[回復習する。					
学期	ターム	項目			内容·準備資料等					
	1	「ポイントメイク」		・2級試験の指定	項目のデモンス	ストレーション				
	2	「アイブロウ①」		・アイブロウの基礎知識・アイテム・基本の描き方 ・アイブロウテクニック						
	3	「アイカラー①」		・アイカラーの基礎知識・アイテム・基本のアイカラーの入れ方・基本のアイカラー ブラシテクニック						
	4	「アイライン①」		・アイラインの基礎知識・アイテム・基本のアイラインの入れ方・基本のアイラインテクニック(ペンシル)						
	5	「アイライン②」		・基本のアイラインテクニック(リキッド)						
	6	「ビューラー&マスカラ」		・ビューラー・マスラー・マスカラテ	スカラの基礎知言 クニック	哉・アイテム・基	本の使い方・基	本のビュー		
授	7	「アイメイクトータルレッスン①」		・アイブロウ、ア・	イメイク トータル	レッスン				
業	8	「リップ」		・リップの基礎知	識・アイテム・	基本のリップの指	詰き方・リップテク			
計 画	9	「ベーシックポイントメイク」		・アイブロウ・アイ	イメイク・チーク・	リップ				
後	10	「ポイントメイクトータルレッスン①) I	・試験課題を意認	哉した、ポイント	メイクレッスン				
期	11	「顔の分析」		・基本のプロポー	-ション・個性の:	 分析・バランスの	 分析・メイクプラ			
	12	「ベースメイク」「顔の分析・フルメ	4イク①」	・ベースメイクテールメイク	クニック(ブラシー	テクニック)・基本	のプロポーション	ンに近づけるフ		
	13	「錯覚とメイクアップ」			泉と曲線 半顔メ	イク実践・色の錯	覚・色彩とメイク	 クアップ		
	14	「模擬試験レッスン①」		模擬試験①						
	15	「模擬試験レッスン②」		模擬試験②						
	16	「模擬試験レッスン③」		模擬試験③						
	17	2級実技試験		試験時間50分						
履修上	の留意点	 	+計験の変験	 次+b ナ ヒ ニ +ヽ! 、						

科目	1名	修了	制作	指導担当者名 柳橋 南						
実務	経験						実務経験:	無		
開講	時期	後期		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科1年		
授業	方法	講義:〇	演習	∄:◎	実	習:	実	技:		
時間	間数	45時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	一年間の集大成としての作品	品作り(メイク、>	ネイル)を行う。						
評価	方法基準	プレゼン発表、提出課題等の	総合評価する	o						
使用	教材	ipad・メイク用品・ネイル用品	・メイクプランシ	/ - -						
	^学習 方法 	作品案を考え、発想力を磨く	0							
学期	ターム	項目			内容-準備資料等					
	1	パワーポイントの使い方		プレゼンテーシ:	ョンの方法(PC)	を学ぶ				
	2	パワーポイントの使い方		プレゼンテーションの方法を学ぶ						
	3	修了制作のテーマを決める		個人でテーマの材料を調査する						
	4	作品案を考える		サンプル作成を行う						
	5	企画書づくり		サンプル作成を	行う					
	6	企画書づくり		企画書の作り方	を学ぶ					
授	7	ヘアメイクプランシート作成		テーマに合った	ヘアメイクを検討	する				
業	8	ヘアー実践		相モデルによる	練習					
計 画	9	メイク実践		相モデルによる	練習					
後	10	ネイル案シート作成		ネイルシートを写	完成させる					
期	11	ネイル作成		チップ合わせを	行いネイルを制作	作する				
	12	全体プランシート作成		見直し						
	13	プレゼン制作		メイク・ネイル・コ	エステと衣装まで	で制作・練習を行	ī ð			
	14	写真撮影		モデルにヘアメ		い撮影をする				
	15	写真選別		実際に使用する	写真を選別しプ	レゼン資料に落る	とし込む			
	16	パワーポイント作成		最終プレゼン資	料を作成する					
	17	修了制作発表		プレゼンテーショ	ョン					
履修上										

科目	目名	実践行動学 Ⅱ (就職実	(務含む)	指導担	!当者名	栁橋	南			
実務	経験			1		実務経験:	無			
開講	時期	通年	対象等	学科学年	トータ	ルビューティ学	科2年			
授業	方法	講義∶○	演習:	実	習:	実持	 支:			
時間数	(通年)	40時間	週時間数		1時	間				
学習到	達目標	就職活動の心構え身だしなみ・目的	コ意識の確認をし、内気	定を目標とする。						
評価	方法 基準	授業態度・提出物・活動状況等の総	合評価する。							
	教材	SUCCESS								
授業を	1字省 5法	この授業を受けて将来自分のなりた	い姿を常に考える事	D						
学期	ターム	項目			内容•準備資料等	F				
	1	オリエンテーション	就職活動につ	いて学ぶ						
	2	就職活動の心構え身だしなみ	昨年の資料に	昨年の資料に基づくレクチャーする						
	3	就職活動での身だしなみ	5-1~5-1(実足	5-1~5-1(実践編) 身だしなみを整える						
	4	就職活動の流れ	学校でのルー	学校でのルールと大学生、高校生、専門学校生の違いを知る						
	5	職業を知る	業界の常識を	業界の常識をレクチャーする						
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1	2-2(実践編)	2-2(実践編) 業界マップの理解を深める						
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2	2-3 業界ごと	こ必要な仕事内容	字を理解する					
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3	業界ごとに必要	要な仕事内容を理	!解する					
授業	9	自分自身を知る 自分史作成 1	自己PRのネタ	を探す						
業計	10	自分自身を知る 自分史作成 2	自己PRのネタ	を探す(経験)						
画	11	自分自身を知る 自分史作成 3	自己PRのネタ	を探す(特性)						
前期	12	自分自身を知る 自分史作成 4	自己PRの骨格	を作る						
	13	自分自身を知る 自分史作成 5	自己PRの骨格	を作る(実践編)						
	14	志望動機の作り方 1	業界、会社に	あった動機作りをす	する					
	15	志望動機の作り方 2	業界、会社に	あった動機作りをで	する					
	16	自己PRの作り方 1	業界、会社にお	合った自己PR 作り	りをする					
	17	自己PRの作り方 2	業界、会社にお	合った自己PR 作り	Jをする					
	18	自己PRの作り方 3	業界、会社にお	合った自己PR 作り	りをする					
	19	履歴書作成	期末評価							
	20	履歴書作成	まとめ							
履修上(修上の留意点									
	出度率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない									

科目	目名	実践行動学Ⅱ(就職	哉実務含む))	指導担	1当者名	栁橘	喬 南	
実務	経験						実務経験:	無	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年	
授業	方法	講義:○	演習	習:	実	習:	実	技:	
単位	立数	40時間		週時間数		1時	持間		
学習到	達目標	就職活動を始める前の準備をする	ა						
評価		授業態度・提出物・活動状況等の)総合評価で	する。					
	教材	SUCCESS							
	↑学習 5法 	この授業を受けて将来自分のなり	りたい姿を常	常に考える事。					
学期	ターム	項目			I	内容・準備資料等	÷		
	1	志望動機の作り方 1		実践)業界、会社	はにあった動機(乍りをする			
	2	就職活動の心構え身だしなみ		実践)業界、会社	はにあった動機化	乍りをする			
	3	就職活動での身だしなみ				シート、添え状なる類(事務局の書			
	4	就職活動の流れ		歴書の完成					
	5	職業を知る							
	6	情報収集、企業研究、資料請求 1		準備、当日、事後の指導を行う					
	7	情報収集、企業研究、資料請求 2		入退室の仕方を	学ぶ				
	8	情報収集、企業研究、資料請求 3		面接試験対策1					
授 業	9	自分自身を知る 自分史作成 1		面接試験対策2					
計	10	自分自身を知る 自分史作成 2		筆記試験につい	へて、種類や方法	を知る			
画	11	自分自身を知る 自分史作成 3		特に小論文の書	書き方(内容は自	己PRや志望動機	をまとめる内容	がよい)	
後 期	12	自分自身を知る 自分史作成 4		特に小論文の書	き方(内容は自	己PRや志望動機	をまとめる内容	がよい)	
	13	自分自身を知る 自分史作成 5		求人票の見方・	自分の希望する	企業を調査(実践	浅)		
	14	志望動機の作り方 2		求人票の見方・	自分の希望する	企業を調査(実践	浅)		
	15	志望動機の作り方 3		求人票の見方・	自分の希望する	企業を調査(実践	浅)		
	16	自己PRの作り方 1		履歴書、入退室	の確認は必須				
	17	自己PRの作り方 2		履歴書、入退室	の確認は必須				
	18	自己PRの作り方 3		作品について					
	19	テスト		就職活動のまとめ					
	20	履歴書作成		レポート提出					
履修上(の留意点	ā	ı						
	出度家·	が80%に満たない場合は 期末制	* 齢の 多齢 *	タ枚を与った)	`				

科目	1名	化粧品			指道坦	当者名	三	貴美子		
	 経験	オフィスマーベル		ップアーティス			実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	トータ	L ルビューティ学	 科2年		
授業	方法	講義:○	演	<u> </u>	実	L 習:	実	技:		
時間	引数	60時間		週時間数		2時	計			
学習到	達目標	日本化粧品検定1級取得を目	指す。							
評価評価		授業態度・提出物・期末テスト	を総合評価す	⁻ る。						
	教材	日本化粧品検定協会 日本化	:粧品検定1級	対策テキスト						
	授業外学習 の方法 テキストを見て事前に予習を行い、授業 学期 ターム 項目			すった内容を毎	回復習する。					
学期	ターム	項目			Þ	容•準備資料	等			
	1	PART 1 化粧品の歴史		テキスト使用						
	2	PART 2 原料と基礎知識		化粧品の原料について						
	3	PART 2 原料と基礎知識		スキンケア化粧品						
	4	PART 2 原料と基礎知識		スペシャルケア、男性肌の特徴						
	5	PART 2 原料と基礎知識		メイクアップ化粧品						
	6	PART 2 原料と基礎知識		ポイントメイクア	ップ化粧品					
	7	PART 2 原料と基礎知識		ボディ化粧品						
	8	PART 2 原料と基礎知識		毛髪の構造とへ	アケア製品につ	いて				
授業	9	PART 2 原料と基礎知識		ネイルの構造に	こついて、香りの原	成分と働き しゅうしゅう				
業計	10	PART 2 原料と基礎知識		オーラルケアと	ケア製品、サプリ	メントの基礎知識	韱			
画	11	テスト		確認テスト						
前期	12	PART 3 化粧品にまつわるルー	ル	化粧品と医薬品	品医療機器等法 、	化粧品•薬用化	粧品•医薬部外	 品の効能と効果		
	13	PART 3 化粧品にまつわるルー	ル	化粧品の広告や	やPRのためのル	ール、化粧品の含	全成分表			
	14	PART 3 化粧品にまつわるルー	ル	化粧品の安全性 トラブル	生を守るためのル	レール、化粧品を	安全に保つため	た、化粧品と肌		
	15	PART 3 化粧品にまつわるルー	ル	化粧品の官能記	平価					
	16	PART 3 化粧品にまつわるルー	ル	主な化粧品成分						
	17	検定対策		過去問題						
	18	検定対策		模擬問題						
	19	模擬試験		期末試験						
	20	まとめ		試験、検定の振り返り						
履修上(修上の留意点									
	出度 率	が80%に満たたい場合は 期ま	よ 試験の 受験	答枚を与った!	`					

科目	名	メイクコ	コンペ		指導担	!当者名	栁橋	南		
実務	経験		美容師実務				実務経験:	有		
開講	時期	前期		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学科	斗2年		
授業	方法	講義:	演習	I:O	実	習:	実技	支:		
時間	引数	60時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	ラグゼビューティ フォトコンベ	ティション入賞	を目指す。						
評価評価		授業態度・提出物・コンペ作品	もを総合評価す	⁻శం						
使用 一		LedomメイクBOX・メイクプラン								
の力		コンペ作品案を考え、発想力を	を磨く。 							
学期	ターム	項目			内容-準備資料等					
	1	コンペ概要		今年度のテーマを確認する						
	2	タイトル(コンセプト)決め		テーマに沿ったタイトルを決める						
	3	メイクイメージ画作成		フェイスプランシート作成する						
	4	メイクイメージ画作成		フェイスプランシート作成する						
	5	ヘアー、衣装(案)の作成		フェイスプランシート作成する(ヘアー、メイク、衣装まで色を載せる)						
	6	セルフメイク実践		自分の顔にメイクを実践する						
	7	セルフメイク実践		自分の顔にメイ	クを実践する					
	8	セルフメイク実践		自分の顔にメイ	クを実践する					
授	9	モデル決め		テーマに沿った	モデルに依頼を	する				
業 計	10	パーツ作成		必要なパーツの	作成、買い出し	等を行う				
画	11	実践デモ		モデルにメイクる	生実践する					
前 期	12	実践デモ		モデルにヘアメ	イクをする					
	13	衣装作成		撮影時アングル	を考えた衣装の	作成をする				
	14	実践デモ		モデルにヘアメ	イクをする					
	15	実践デモ		モデルにヘアメ	イクをする					
	16	実践デモ		モデルにヘアメ	イクをする 携帯	での撮影 アンク	ブルを決める			
	17	本番撮影		本番撮影						
	18	提出フォーム内容の作成		テーマに合った	タイトル(コンセブ					
	19	 提出写真の選別		撮影した写真の中から提出する写真を選別し決定する						
	20	作品提出		ーニー 作品データのアップロード提出をする						
履修上(<u> </u>						
	出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

科目	1名	メイ	クⅡ		指導担	!当者名	①佐々木美代子(②管野元美 ③柳橋南	
実務	経験	①美容師実務経験18年	年 ②美容師第	実務経験1年(美容師実務網	E 験12年	実務経験:	①有 ②有 ③有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	· 科2年	
授業	方法	講義:	演習	≌:○	実	· 習:	実	受技:	
時間数	(通年)	135時間		週時間数		6時	· 宇間		
学習到	達目標	JMA 日本メイクアップ技術検	定1級合格を[目指す。					
評価評価		授業態度・提出物・技術テスト	〜を総合評価す	ける。					
	教材	JMA 日本メイクアップ技術検	定1級テキスト	Ledomメイク	7 ВОХ				
授業を	15字音 5法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	行った内容を毎	回復習する。				
学期	ターム	項目			内容・準備資料等				
	1	2級内容の振り返り		2級内容と1級内容の違いを説明					
_	2	「イメージメイク理論①」		・イメージ分類・イメージに近づくポイントメイクの色・形・質感					
	3	「イメージメイク理論②」		・キュート・エレ	ガントイメージメ・	イクデザイン			
	4	「イメージメイク実習①」				の顔分析・メイク 丘づけるポイント		書き方	
	5	「イメージメイク実習②」		・エレガントメイクレッスン・モデルの顔分析・メイクプランシートの書き方 ・モデルの顔をエレガントメイクに近づけるポイント					
	6	「イメージメイク実習③」		・フレッシュ・クールイメージメイクデザイン					
	7	「イメージメイク実習④」				ルの顔分析・メイニ近づけるポイン		の書き方	
	8	「イメージメイク実習⑤」			ッスン・モデル <i>の</i> クールメイクに近)顔分析・メイク: づけるポイント	プランシートの指	昔き方	
授	9	「メイクアップの強弱①」				ントメイクのバラン	ンス		
業計	10	「メイクアップの強弱②」		アイブロウを強	館調したメイク				
画	11	「メイクアップの強弱③」		アイメイクを強	調したメイク				
前期	12	「メイクアップの強弱④」		・リップを強調し	たメイク				
	13	「メイクアップの強弱⑤」		チークを強調し	たメイク				
	14	「1級試験概要」		・試験の内容・	試験のポイント・	接客マナー			
	15	「カウンセリング①」		・カウンセリングレ	のポイント・カウ	ンセリングシート	・の活用・カウン	/セリングロープ	
	16	「カウンセリング②」			`~メイク設計・=	コミュニケーション	・・カウンセリング	 グロープレ	
	17	「スピードスキンケア①」		・スピードメイク	オフ~スキンケフ	7			
	18	「スピードスキンケア②」		・スピードメイク	オフ~スキンケフ	ア・カウンセリンク	j		
	19	「スピードメイクのポイント」		・メイク設計とアイテム選び・フルメイクチェック					
	20	「スピードメイクのポイント」		・メイク設計とアイテム選び・フルメイクチェック					
履修上(! ! が80%に満たない場合は、期	末試験の母験	省格を与ったし	١.				

科目	目名	メイク	II ל		指導担	当者名	①佐々木美代子	②管野元美 ③柳橋南	
実務	経験	①美容師実務経験18年	F ②美容師実	ミ務経験1年 ③	美容師実務紹				
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ		
授業	方法	講義:	演習	I:O	実	· 習:	身	€技:	
時間数	(通年)	135時間		週時間数		3時	持間		
学習到	達目標	JMA 日本メイクアップ技術検賞	定1級合格を目	指す。					
	方法 基準	授業態度・提出物・技術テスト	を総合評価す	⁻ る。					
	教材	JMA 日本メイクアップ技術検賞	定1級テキスト	Ledomメイク	вох				
授業を	下子百 5法	テキストを見て事前に予習を行	行い、授業で行	行った内容を毎回復習する。 					
学期	ターム	項目		内容·準備資料等					
	1	「要望に応えるフルメイク①」		・カウンセリング	・フルメイク 30分	分(実践)			
	2	「要望に応えるフルメイク②」		・カウンセリング・フルメイク 30分 (実践)					
	3	「要望に応えるフルメイク③」		・カウンセリング・フルメイク 30分 (実践)					
	4	「要望に応えるフルメイク④」		・カウンセリング・フルメイク 30分 (実践)					
	5	「要望に応えるフルメイク⑤」		・カウンセリング	・フルメイク 30分	分(実践)			
	6	「クロージング」		・クロージングの	ポイント・フルメ	イク~クロージン	ノグ		
極	7	「クロージング」		・クロージングの	ポイント・フルメ	イク~クロージン	ノグ		
授 業	8	「クロージング」		・クロージングの	パイント・フルメ	イク~クロージン	ノグ		
計 画	9	「加齢とメイク」		エイジングの変	化・メイクでの	対応方法			
後	10	「加齢とメイク」		エイジングの変	・メイクでの	対応方法			
期	11	「加齢とメイク」		エイジングの変	・メイクでの	対応方法			
	12	「模擬試験レッスン①」		-1級実技試験内	内容(1 クール 5	0分)			
	13	「模擬試験レッスン②」		•1級実技試験内	N容(1 クール 5	0分)			
	14	「模擬試験レッスン③」		•1級実技試験内		0分)			
	15	1級実技試験		テーブルセッティ 事前審査 実技		説明 カウンセリ	リング~スキング	ァア 15 分	
	16				- 197 11				
	17								
履修上の	の留意点	<u>. </u>		I					

科目	1名	美容	 実習		指導担	!当者名	栁橋	南		
	経験			%経験12年			実務経験:	有		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ		42年		
授業	方法	講義:	演習	B:O	実	習:	実技	Ĭ:		
時間数	(通年)	90時間		週時間数		3時	間			
学習到	達目標	BFビューティサロンの運営を 美容業界現場・作品制作時に				を学ぶ。				
評価評価		出席、授業態度、提出物、BF	ビューティサロ	ンの売上などの	の総合評価。					
使用		エステ用品・ネイル用品・SNS								
授業を		SNSなどを利用して、集客のフ	方法を考える。	技術の応用練	習					
学期	ターム	項目			ı	内容·準備資料等	ř			
	1	昨年度の振り返り		昨年度の反省と	 :今年度の目標:	 设定				
	2	新メニュー案		反省点を基にメニューの見直しをする						
	3	集客方法案		SNS発信、チラシ作成、メニューPOP作成						
	4	運営準備		マニュアル作成						
	5	運営準備		実践練習						
	6	運営準備		プレオープン・当日準備						
	7	サロン運営		エステ・ネイルサ	トロン運営					
	8	反省会		前回のサロン運	営においての反	省会と次回の目	標			
授 業	9	基本アップ方法		ウィッグを使用し	て練習					
計	10	基本アップ方法		ウィッグを使用し	て練習					
画	11	基本アップ方法		ウィッグを使用し	て練習					
前 期	12	コテの使用方法		ウィッグを使用し	て練習					
	13	コテの使用方法		ウィッグを使用し	て練習					
	14	トレンドメイク		メイク道具一式						
	15	トレンドメイク		メイク道具一式						
	16	トレンドメイク		メイク道具一式						
	17	技術チェック		メイク道具一式						
	18	技術チェック		メイク道具一式						
	19	振り返り		ネイル、メイク用	具一式					
	20	まとめ		サロン当日の振り返りと反省を行う						
履修上(
	出度率	が80%に満たない場合は 期間	末試験の妥験	容格を与えたL	١					

科目	目名	美容	実習		指導担	当者名	栁橋	南	
実務	経験		美容師実務	务経験12年			実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年	
授業	方法	講義:	演習	:O	実 [:]	習:	実	技:	
時間数	(通年)	90時間		週時間数		3時	間		
学習到	達目標	BFビューティサロンの運営を 美容業界現場・作品制作時に				を学ぶ。			
	方法 基準	出席、授業態度、提出物、BF	゙゙ビューティサロ	ンの売上などの	D総合評価。				
	教材	エステ用品・ネイル用品・SNS	\$						
	1 学習 5 法	SNSなどを利用して、集客の方法を考える。技術の応用練習							
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	前回の振り返り		反省と今回の目	標設定				
	2	新メニュー案		反省点を基にメニューの見直しをする					
	3	集客方法案		SNS発信、チラシ作成、メニューPOP作成					
	4	運営準備		マニュアル作成					
	5	運営準備		マニュアル作成					
	6	運営準備		マニュアル作成					
+巫	7	運営準備		1年生への引継	ぎ				
授業	8	運営準備		1年生への引継	ぎ				
計 画	9	基本アップ方法		ウィッグを使用し	て練習				
後	10	基本アップ方法		ウィッグを使用し	て練習				
期	11	基本アップ方法		ウィッグを使用し	て練習				
	12	トレンドメイク		メイク道具一式					
	13	トレンドメイク		メイク道具一式					
	14	ネイルデザイン・アート		ネイル道具一式					
	15	ネイルデザイン・アート		ネイル道具一式					
	16	技術チェック		ネイル、メイク用具一式					
	17	まとめ		サロン当日の振り返りと反省を行う					
履修上	多上の留意点								

科目	目名	ネイル(コ	一ス授業)		指導担	当者名	①大原麻弥	②遠廊	——— 籐淳子	
実務	経験	①ネイリスト実務総	経験10年 ②ネ	イルサロンオ-	ーナー実務経験	€37年	実務経験:	①有	②有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年		
授業	方法	講義:	演習	3:◎	実	習:	実	技:		
時間数	(通年)	370時間		週時間数		128	寺間			
学習到	達目標	JNAジェルネイル技能検定中	級合格を目指	す。						
	方法 基準	授業態度・提出物・技術テスト	〜を総合評価す	⁻ る。						
	教材	ジェルネイルテキスト、ジェル	ネイル用具							
	外学習 方法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	テッた 内容を毎	回復習する。					
学期	ターム	項目		内容·準備資料等						
	1	ジェル中級検定の確認		ジェル中級検定確認(実技・筆記)						
	2	第一課題について		第一課題ネイルケア・カラーリングの実践						
	3	第二課題について		第二課題ジェルオフについて						
	4	第二課題について		第二課題ジェルオフについて						
	5	第二課題について		第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション						
	6	第二課題について		第二課題ジェルイクステンションデモンストレーション						
	7	第二課題について		第二課題ジェル	イクステンション	デモンストレーシ	ョン			
	8	第二課題について		第二課題ジェル	イクステンション	デモンストレーシ	ョン			
授 業	9	第一第二課題の通しと確認		ポリッシュオフに	ついて再度確認	?				
計	10	第一第二課題の通しと確認		ポリッシュオフま	での通し					
画	11	テスト		ポリッシュオフま	での通し					
前期	12	第一第二課題の通しと確認		ジェルフレンチカ	コラーリングデモ :	ンストレーション				
	13	第一第二課題の通しと確認		ジェルフレンチカ	ラーリング実践					
	14	第一第二課題の通しと確認		ジェルフレンチカ	ラーリング実践					
	15	第一第二課題の通しと確認		ジェルフレンチカ	コラーリングまでの	の通し				
	16	第一第二課題の通しと確認		復習・テスト範囲	国確認 日確認					
	17	第一第二課題の通しと確認		復習と通し・テス	ト ト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・					
	18	ジェル中級検定 筆記対策		筆記試験対策						
	19	最終確認テスト		検定前の模擬テスト						
-	20	ジェル中級検定		ジェル中級検定	1					
履修上	の留意点	Ī.								
	出席率が80%に満たない場合は、期末試験の受験資格を与えない。									

科目	1名	ネイル(コ	一ス授業)		指導担	当者名	①大原麻弥	②遠藤淳子	
実務	経験	①ネイリスト実務紀	登験10年 ②ネ	・イルサロンオー	-ナー実務経験	€37年	実務経験:	①有 ②有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年	
授業	方法	講義:	演習	≅:◎	実	習:	実持	技:	
時間数	(通年)	370時間		週時間数		12#	寺間		
学習到	達目標	JNECネイリスト技能検定1級	、JNAジェルネ	イル技能検定」	上級合格を目指	す。			
評価		受業態度・提出物・技術テストを総合評価する。							
		ジェルネイルテキスト、ジェルネイル用具							
授業がの力		テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	行った内容を毎回復習する。					
学期	ターム	項目			内容•準備資料等				
	1	ネイル1級検定内容の確認		1級内容の確認	とネイルイクステ	ンション スカル	プのデモンストレ	·ーション	
	2	ネイル1級検定内容		ネイルイクステン	 /ション チップオ	ーバーレイのデ	モンストレーショ	 ン	
	3	ネイル1級検定内容		ネイルイクステンションからチップオーバーレイまでを実践					
	4	ネイル1級検定内容		ネイルアートのデモンストレーションと実践					
	5	ネイル1級検定内容		ネイリスト技能核	美定1級の通し				
	6	ネイル1級検定内容		ネイリスト技能核	食定1級の通し				
授	7	これまでの復習		復習					
授 業 計	8	ジェル上級検定内容		ジェル上級検定	内容確認				
画	9	ジェル上級検定内容		スカルプのデモ	ンストレーション	と実践			
後	10	ジェル上級検定内容		スカルプのデモ	ンストレーション	と実践			
期	11	ジェル上級検定内容		チップオーバー!	レイのデモンスト	レーションと実践			
	12	ジェル上級検定内容		チップオーバー!	レイ デザインの	デモンストレーシ	っと実践		
	13	確認テスト		確認テスト					
	14	ジェル上級検定内容		チップオーバー!	レイ デザインの	デモンストレーシ	っと実践		
	15	ジェル上級検定内容の通し		通し					
	16	ジェル上級検定		ジェル上級検定	•期末試験				
	17	まとめ		まとめ					
	の留意点	が80%に満たかい場合は 期			\				

科目名		エステ(コ-	ース授業)		指導担当者名			②村」	上成美		
実務	経験	①エステティシャン	実務経験34年	②エステティ	シャン実務経験	6年	実務経験:	①有	②有		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年			
授業	方法	講義:	演習	:O	実習:		実	技:			
時間数	(通年)	370時間		週時間数		128	寺間				
学習到	達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャ スパ・ウエルネス協会ビュー		(1月)							
評価評価	方法 基準	授業態度・提出物・技術テスト	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。								
	教材	スパ・ウエルネス協会テキスト・例題集 AEAエステティシャン問題集									
授業を		テキストを見て事前に予習を	ストを見て事前に予習を行い、授業で行った内容を毎回復習する。								
学期	ターム	項目			内容•準備資料等						
	1	オリエンテーション		AEAの説明							
	2	コースの説明		コースのシラバスの説明							
	3	AEA試験に向けて計画		筆記試験・実技試験に向けての計画							
	4	FA実習		フェイシャル技術応用							
	5	FA実習(カウンセリング)		フェイシャルカウンセリングシートの作成(応用)							
	6	皮膚科学		AEA問題集科目別テスト							
	7	BO実習		ボディ実習(応用)							
	8	BO実習(カウンセリング)		ボディのカウンセリングシート作成(応用)							
授	9	解剖生理学•心身生理学		テキスト過去問	題						
業計	10	FAマッサージ(6大手技)		フェイシャル実技	支(応用)						
画	11	FAマッサージ		フェイシャル実力	支(応用)						
前 期	12	運動生理学•栄養学		テキスト過去問	題						
	13	テスト		期末試験							
	14	FAカウンセリング		サロンでの実務	的なサービスを	 学ぶ					
	15	FAクレンジング・パック		サロンでの実務	的なサービスを	 学ぶ					
	16	化粧品学・エステ機器学		テキスト過去問	 題						
	17	AEA実技練習		検定対策(実技)						
	18	カウンセリング・マネジメント		AEA問題集科目	別テスト						
	19	東洋・西洋セラピー		AEA問題集科目	別テスト						
	20	まとめ		期末試験							
履修上の	の留意点	ī.		I							
	出席率	が80%に満たない場合は、期	末試験の受験	資格を与えなし	١,						

科目	1名	エステ(コ-	ース授業)		指導担当者名 ①森合美穂 ②村上成美					
実務	経験	①エステシャン実	務経験34年	②エステティシ	ャン実務経験6	年	実務経験:	①有	②有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年		
授業	方法	講義:	演習	I:O	実	習:	実	技:		
時間数	(通年)	370時間		週時間数		128	寺間			
学習到	達目標	上級資格取得を目指す。 AEA上級認定エステティシャ スパ・ウエルネス協会ビュー	ァン(9月) -ティセラピスト	(1月)						
	方法 基準	授業態度・提出物・技術テストを総合評価する。								
	教材	スパ・ウエルネス協会テキスト・例題集 AEAエステティシャン問題集								
授業を	1学習 5法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	行った内容を毎回復習する。						
学期	ターム	項目			内容•準備資料等					
	1	生理解剖学		ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する						
	2	生理解剖学		ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する						
	3	脳生理学·運動生理学		ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する						
	4	脳生理学·運動生理学		ソワンエステティックテキスト・過去問題集を使用する						
	5	栄養学·香粧品学		ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	する			
	6	栄養学•香粧品学		ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	する			
1 四	7	電気機器·衛生消毒·救急法		ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	・実技練習をする	, 5		
授 業	8	電気機器·衛生消毒·救急法		ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	実技練習をする	, 5		
計 画	9	カウンセリング・サロン経営・接客	マナー	ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	実技練習をする	 5		
後	10	カウンセリング・サロン経営・接客	マナー	ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	・実技練習をする	 5		
期	11	テスト		期末試験						
	12	東洋・西洋のトリートメント		ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	実技練習をする	 5		
	13	脱毛学・フェイシャル・ボディ実技	理論	ソワンエステティ	ックテキスト・過	去問題集を使用	・実技練習をする	 5		
	14	実技試験最終確認		試験対策						
	15	ビューティセラピスト実技試験		検定試験(実技))					
	16	アロマ・リフレ・ネイル・メイク		ソワンエステティ	ックテキスト・過	 去問題集を使用	実技練習をする	 5		
	17	ビューティセラピスト筆記試験模	疑試験	検定試験(筆記)						
履修上(の留意点	 	+=+++> = ==+	· ·欠+b ナ ト ニ ナヽ」 ,						

科目	1名	セルフビューティ	コース授業)シ	^プ ム	指導担当者名 管野 元美			元美	
実務	経験						実務経験:	無	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年	
授業	方法	講義:	演習	3:0	実	習:	実技:		
時間数	(通年)	90時間(コース時間合計	370時間)	週時間数		3時	間		
学習到	達目標	自己理解を深め、健康的に整うセルフケアを身に付ける。 ストレッチ・筋肉トレーニングなどを組み合わせてパーソナルなトレーニング法を提案できる。							
評価評価		出席率·参加態度·実技習得	度合を点数化	して総合評価す	⁻ る。				
	教材	スポーツウェア、ヨガマット、タ	スポーツウェア、ヨガマット、タオル						
授業外学習 の方法		授業で行った内容を毎回復習	でし、自己管理	に努める。					
学期	ターム	項目			ı	内容•準備資料等	F		
	1	トレーニングマシンの使い方		ジムでトレーニン	/グマシンを使用	し、使い方と注意	意点の確認		
	2	上半身のトレーニング		ストレッチや筋トレを中心とした上半身のトレーニング					
	3	下半身のトレーニング		ストレッチや筋トレを中心とした下半身のトレーニング					
	4	ピラティス		スタジオでのトレーニング・柔軟性・姿勢改善を中心とした体幹トレーニング					
	5	ヨガ		スタジオでのトレーニング・呼吸法を取り入れながらストレッチを中心とした 柔軟トレーニング					
	6	パーソナルトレーニング		各種を組み合わせてパーソナルなトレーニングを実施					
	7	パーソナルトレーニング		各種を組み合わせてパーソナルなトレーニングを実施					
	8	パーソナルトレーニング		各種を組み合わせてパーソナルなトレーニングを実施					
授業	9	パーソナルトレーニング		各種を組み合わ	せてパーソナル	なトレーニングを	実施		
業計	10	パーソナルトレーニング		各種を組み合わ	せてパーソナル	なトレーニングを	実施		
画	11	確認テスト		期末評価				-	
通 年	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
履修上(の留意点	Ā		•					

科目名		セルフビューティ(コース	授業) パーソ	ナルカラー	指導担	当者名	小池	久子	
実務	経験	⊅-	ラーコーディネ	一卜実務経験14	·年		実務経験:	有	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ヌルビューティ学科2年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	習:	実	 技:	
時間数	(通年)	95時間(コース時間合計	370時間)	週時間数		3時	間		
学習到達目標		パーソナルカラー検定モジュ 美容業界において通用するが	ール1の取得。 コラーの知識を	うにつける。					
評価評価	方法 基準	出席率·授業態度·提出課題	・試験等の成績	漬評価を100点湯	満点で点数化し	て総合評価す	る。		
	教材	はじめてのパーソナルカラー	パーソナルカ	コラー配色カード	モジュール1	配色ワークブッ	ク 新配色カー	- ├ 199a	
授業外学習 の方法		テキストの範囲を読んでおく。	1						
学期	ターム	項目			ı	内容•準備資料等	j.		
	1	色と生活 色の種類		ガイダンス「授業課題プリント、ミ		評価方法につい	て」テキスト解説	, ,	
	2	色の仕組み I 光について		ガイダンス「授業課題プリント、ミ	概要と進め方、	評価方法につい	て」テキスト解説		
	3	色の仕組みⅡ 光源、目の構造		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、 課題プリント、ミニテスト					
	4	日本の色の歴史		ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、 課題プリント、ミニテスト					
	5	肌、皮膚、髪色の種類		スタジオでのトレーニング。呼吸法を取り入れながらストレッチを中心とした 柔軟トレーニング					
	6	パーソナルカラーの特徴		ガイダンス「授業課題プリント、ミ	概要と進め方、	評価方法につい	て」テキスト解説	•	
	7	パーソナルカラー診断 色彩演習	<u></u>	が超フラント、ミニテスト ガイダンス「授業概要と進め方、評価方法について」テキスト解説、 課題プリント、ミニテスト					
	8	色彩心理 アートセラピー							
授	9	色彩心理 アートセラピー		色彩演習					
業計	10	テスト		確認テスト					
画	11	検定試験		モジュール1受駄					
通年	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
履修上(の留意点	<u> </u>							

科目名		セルフビューティ(コース授業)	ナチュラルビュー	ーティスタイリスト	指導担	当者名	関本	ひかる	
実務	経験						実務経験:	無	
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学科2年		
授業	方法	講義:〇	演	習:	実	· 習:	実	技:	
時間数	(通年)	95時間(コース時間合計	370時間)	週時間数		3時	間		
学習到	達目標	自己理解を深め、健康的に割・タのストレッチ・筋肉トレーナチュラルビューティスタイリ	-ニング・呼吸:	法を日常の中で	『活かし生活す	ే .			
評価評価		出席率・参加態度・実技習得度合・ノート提出・オリジナルセルフケア方法提出。							
	教材	ナチュラルビューティスタイリ	Fュラルビューティスタイリスト検定 公式テキスト						
授業を	1字習 5法	テキストを見て事前に予習を	行い、授業で行	〒った内容を毎	回復習する。				
学期	ターム	項目			1	内容・準備資料等	ŧ		
	1	自分のココロと身体を知る		P9~14					
	2	身体の仕組みを知る		P15~21					
	3	ストレスと身体		P15~21					
	4	自律神経		P15~21 理想(の1か月の過ごし	方			
	5	心の疲れをリセット・夜ストレッチ	1	スタジオでのトレーニング。呼吸法を取り入れながらストレッチを中心とした 柔軟トレーニング					
	6	心を休める睡眠		P44~47 理想の1日のタイムスケジュール					
	7	おすすめ気分転換法		P58~61 P95~	-121				
	8	身体の内側から整える食事		P23~33					
授	9	腸を整える		P23~33 栄養	バランスの良い	食事			
業計	10	五感に心地よいライフスタイル		P92~95					
画	11	ナチュラルビューティスタイリスト	検定模擬試験	模擬試験					
通 年	12	期末試験		期末評価					
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
履修上(の留意点	<u>. </u>		ı					
	出席率	が80%に満たない場合は、期	末試験の受験	資格を与えなし	١,				

科目	1名	セルフビューティ(コース技	受業)インナー	ビューティ	指導担	当者名	①篠原 大智	②管野 元詞			
実務	経験	①ホテル調	理実務経験22:	年 ②美容師事	ミ務経験1年		実務経験:	①有 ②有			
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	科2年			
授業	方法	講義:〇	演習	: ⊚	実	習:	実	支:			
時間数	(通年)	90時間(コース時間合計	370時間)	週時間数		3時	間				
学習到	達目標	「料理のインナービューティ」と のことを指します。これは、美 ンバランスなどを改善しようと	容や健康に良	い食材を使い、	体の調子を整	から美しさを引 えることで、肌	き出すことを目! や髪の美しさ、	的とした料理 代謝、ホルモ			
評価評価		出席率、授業態度、提出物、	テスト								
使用	教材	資料プリントを配布									
授業を		予習復習									
学期	ターム	項目			ı	内容 準備資料等	F				
	1	甘酒スムージー		発酵食品(腸内環境を整える)							
	2	季節野菜のドライカレー		スパイスには、健康・美肌のために利用されている							
	3	キムチと豆腐のチゲスープ		発酵食品(腸内環境を整える)							
	4	基本メイクアップ方法		メイク道具一式							
	5	豆腐ハンバーグ(きのこあんかけ	t)	高タンパク・大豆製品(肌・髪・爪の材料)							
	6	トレンドメイク		メイク道具一式							
	7	いわしの梅煮+玄米定食		良質な脂・オメガ3脂肪酸(ホルモン・肌の潤い)							
	8	ブリスボール、バナナマフィン		米粉を使い糖質	を減らしている						
授業	9	雑穀ごはんのおにぎり+味噌汁		食物繊維(便通	改善・デトックス))					
業計	10	確認テスト		確認テスト							
画	11										
通 年	12										
	13										
	14										
	15										
	16										
	17										
	18										
	19							-			
	20										
履修上(の留意点										

科目	3名	卒業	制作		指導担	当者名		 南			
実務	経験						実務経験:	無			
開講	時期	後期		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学	————— 科2年			
授業	方法	講義:	演習	:O	実	習:	実担	支:			
時間数	(通年)	270時間		週時間数		6時	間				
学習到	達目標	2年間の集大成としての作品	作りをする。								
	方法 基準	プレゼン発表、提出課題等の総合評価する。									
	教材	ipad・メイク用品・ネイル用品	・メイクプランシ	/ - -							
授業外学習の方法では、発想力を磨く。											
学期	ターム	項目			1	内容・準備資料等	F				
	1	一年の復習		今後の流れを確認する							
	2	パワーポイントの使い方		パワーポイント使用の確認する							
	3	卒業制作		テーマを決める							
	4	卒業制作		デザイン案を制作する							
	5	卒業制作		企画書を作成する							
	6	ヘアメイクプランシート作成		ヘアメイクデザイン案に沿ったプランシートを作成する							
	7	ヘアー実践		相モデルによる	練習						
授	8	メイク実践		相モデルによる	練習						
業計	9	ネイル案シート作成		相モデルによる	————— 練習						
画	10	ネイル作成		モデルにチップ1		プ制作を行う					
後 期	11	衣装合わせ		衣装制作(コーラ	ディネート)手配 ⁻	する					
	12	全体プランシート作成		見直し							
	13	プレゼン制作		メイク・ネイル・コ	ステと衣装まで	で制作・練習を行	īò				
	14	写真撮影		モデルにヘアメ		い撮影をする					
	15	写真選別		実際に使用する	写真を選別して	プレゼン資料に落る	とし込む				
	16	パワーポイント作成		最終プレゼン資	料を作成する						
	17	卒業制作発表		プレゼン発表							
	18										
履修上(の留意点	Ā		1							

							Т			
科目	目名	企業			指導担当者名 企業指導者					
実務	経験		実習企業	業指導者			実務経験:	無		
開講	時期	通年		対象学	科学年	トータ	ルビューティ学: 	科2年		
授業	方法	講義:	演	習:	実習	:O	実担	支:		
時間数	(通年)	30時間		週時間数		6時	間			
学習到	達目標	実践授業の一環として、目指	す業界の仕事	に触れることで	マナーや仕事の	内容を理解する	5 .			
評価方法 評価基準		実習態度や実習対応力を中心	心に、基礎的知	口識等を判断し	ていただき、評化	而表を提出す る	ప ం			
使用教材 企業毎に違う。										
	1学習 方法	事前に実習先企業を調べ予	事前に実習先企業を調べ予習をする。当日行った業務内容を復習する。 							
学期	ターム	項目			内容•準備資料等					
	1	企業実習	企業毎の接客で	アナーや電話応対	、基礎的なルー	-ティンワーク				
	2	企業実習	企業毎の接客で	アナーや電話応対	大基礎的なルー	-ティンワーク				
	3	企業実習	企業毎の接客で	アナーや電話応対	大基礎的なルー	-ティンワーク				
	4	企業実習		、基礎的なルー	 勺なルーティンワーク					
	5	企業実習		企業毎の接客マナーや電話応対、基礎的なルーティンワーク 企業毎の接客マナーや電話応対、基礎的なルーティンワーク 企業毎の接客マナーや電話応対、基礎的なルーティンワーク 企業毎の接客マナーや電話応対、基礎的なルーティンワーク						
	6									
授	7									
業計	8									
画	9									
通 年	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
	16									
履修上的	の留意点	į								